



きらめき

平成30年1月10日発行

第28号

発行：社会福祉法人北星会
編集：広報誌編集委員会

社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277番地
TEL：0772-22-0320 ホームページ：http://www.hokuseikai.or.jp/
FAX：0772-22-8477 Eメール：info@hokuseikai.or.jp

理事長が交代しました

就任あいさつ

新理事長 今出陽一朗



平成29年6月に三代目の理事長に就任しました今出（いまいで）です。

初代吉岡均二理事長が昭和52年に丹後地域で初の特養天橋園を開設し、その後昭和60年に特養与謝の園、平成13年に老健施設リハ・ヴィラなぎさ苑、平成17年に特養天橋の郷を開設。現在、これら4施設を拠点として全24事業所で約350人の職員が地域に根差した社会福祉活動を行っています。

これからは団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題をはじめとして少子

高齢化、独居老人、老老介護、認知介護、介護資源不足等さまざまな課題に取り組む必要があります。北星会では、三つの誓い（真心をこめた介護サービス、職場での「和」を大切に、一人一人が経営努力）を基本に、法人本部体制をさらに強化して本部と4つの拠点群が一丸となり、行政との連携を密にしてその指導と協力のもと、多様化するニーズに応えるべく、地域の方々の幸せに貢献できるように努めていく所存です。

また私の本業は医師で、今出クリニックの診療と並行して北星会の産業医として職員の健康管理に携わっています。介護の仕事は夜勤などの不規則勤務もあり楽ではありません。北星会で働く職員一人一人が自分の仕事に対して誇りと喜びを持ち、働きがい・生きがいを感じとれる夢のある職場環境であることを切に願います。そのような環境作りも私の責務と考えています。

「介護の関心を深める」

オープンデイ開催

天橋の郷居宅部門

天橋の郷では毎年福祉サービスを身近なものとして理解し関心を持って頂くとうと「介護の日」にちなみオープンデイを開催しています。

今回は44名と沢山の方にご参加頂き、「地域で楽しく元気に暮らす」をテーマに、住み慣れた地域には「どのようなサービスがあるのか？」、「どうやって利用できるのか？」そんな疑問にお応えしようと、講師をお招きし、サービス利用の手続きなどの講演や、当施設における4つの在宅部門それぞれの特徴を説明させて頂きました。

その後は、手作りおやつをいただきながら、ご利用に関するご質問や将来の不安など様々なお話が伺えました。また、施設見学では「お父さんいつもこんな

ええとこ泊まっつったんか」と既にご利用頂いている方が奥様を連れて「見せてやりたかったんや」と誇らしげな顔が印象的でした。

これからサービスをお考えの方には、自分に合ったサービスはどんなものがあるか、また現在利用中の方のご家族には日々のご利用の様子をお伝え出来たのではないかと思います。

今後もより良いサービスを提供させて頂くために、各事業所が連携して地域で安心して楽しく元気に暮らせるサポートをさせて頂きます。（長谷川真美）



「知って安心の話が満載!!」

「ポールウォーキング&外食ツアー」

天橋の郷デイサービス

天橋の郷デイサービス、運動グループでは、健康維持・向上を目的に体操やポールウォーキングを実施しています。

今回、日頃の成果を実感したいと、ご利用者から声があがり、阿蘇シーサイドパークに、ポールウォーキングに行ってきました。

当日は、雨上がりの冷たい風が吹いていましたが、ものともせずポールを上手く使い足どりも軽く、普段以上に張り切って歩かれ「いつも、杖で歩いている時は、どうしても姿勢が丸くなって、歩行も不安定やけ



「背筋が伸びて若返り!!」



「運動のあとのご飯は格別!」

ど、ポールを持つと、自然と目線が上がって、背筋も伸びて歩けるな」とポールウォーキングの効果をも身をもって体感された様子でした。

その後、昼食には府中の小倉食堂さんにて、各々好きなメニューを注文され、「食堂で昼食なんて何十年ぶりやろ?」とお話されながら、疲れを感じさせない笑顔あふれる外出となりました。

デイサービスでは、今回のように外出のきっかけとなった、ご利用者の声に普段から耳を傾け、思いをカタチにできる活動を今後も目指していきます。

(馬谷 亮)

「カフェオアシス」

「なぎさ苑職員 交流の場に」

「働きやすい職場って、どんな職場?」「他部署の人とはあまりおしゃべりする機会が無いかも」「お昼休みにゆつくりできる場所が無い」等々の声に少しで苑衛生委員会では、今年7月から毎月1回、お昼休みに「ランチ&カフェタイム」として皆が集うことができます。



目指せサラメシ!?

名前は「カフェオアシス」! カフェの日のお昼は会議室を開放! 普段は部署ごとに昼食をとっていますが、月1回、同じテーブルでお弁当を食べたり、休憩するこ

とができます。テーブルにクロスを掛け、お花を飾ると、雰囲気も一変し、コーヒーの良い香りと心地よいBGMです。すっかりカフェに様変わりです。お弁当を食べた後は、職員手作りのパンやお菓子を食べて、くつろぎのひと時♡

職員同士が仲良くなつて、それが仕事にも繋がって、ご利用者やご家族へのサービスとして還元され、職員も満足や喜びを感じることができるよう! そんな風通しの良い職場を目指していきます。(なぎさ苑衛生委員会)

北星会フェイスブック

2015年の11月より始めさせて頂いております、北星会フェイスブックページ(旧天橋園フェイスブックページ)ついに『800いいね!』達成させていただきました!! 😊

北星会も今年40周年となる節目の年であり、地域に支えられ、沢山の方々にお世話になっております。近年はSNS(ソーシャルネットサービス)というインターネットサービスを利用し、遠方の家族の方々や宮津ご出身の方、また福祉という分野に興味を持っていただき、北星会の各施設の様子や取り組みをたくさん知って頂ける良い機会だと思っております。

今後も魅力ある発信を、皆様にお届けしようと思っております!!

どうぞ宜しくお願い致します。(大松智史)



感染症シーズンに
向けて

予防の基本は手洗い

天橋園では、定期的に、手洗いや拭き掃除、吐物処理の手順を確認・指導する研修を行っています。インフルエンザやノロウイルスといった感染症流行期を目前に研修を行いました。職員も日頃より、1ケア1手洗いを実践していますが、さてその手洗いはどのくらい出来ているのでしょうか。予防の基本は手洗いです。仕事中何度も行うことですが、次のケアに行く前に、今の自分の手は清潔なのか？ 不潔なのか？ を意識することが大切です。自分たちの手で感染を広げることのないようにしなければいけません。



ひとつひとつの動作を確認



年に2回実施する吐物処理の实地研修では、細かい手順を再確認します。実際の緊急時、どれだけ実践できるか？ 事前の備えがきちんと出来ているか？ 普段からマニュアルの要点をしっかりと認識しておくことが必要です。まずは施設内にウイルスを持ち込まないことが望ましいですが、職員みんなで意識を高め、予防と早期発見・早期対応に努めていきたいと思えます。(三野恵子)

「あなたの笑顔のために、
住み慣れた場所へやさしい心を
お届けします。」
天橋訪問介護事業所

毎月一回開催している勉強会では、ヘルパーとしての資質向上を目指しています。今年度はなごさ苑の理学療法士の指導で介護技術を学んだり、丹後保健所から出前講座で腰痛予防についての勉強をしました。十月は毎年恒例となった

ている調理実習でした。近くの公民館の調理場をお借りし、利用者のお宅にありがちな身近な野菜を使って、短時間で簡単に調理できる、おいしく食べやすい料理を作りました。主婦歴の長いヘルパーも多く、次々に料理が出来上がりました。



介護技術を学び明日から実践

これからも、利用者はもちろん、ご家族、地域の方々、そして私たちヘルパーも笑顔で暮らしていけるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。(系井淳子)

与謝の園

デイサービス

毎月のおたのしみ

今年度の手作業レクでは【新しい文化に触れてみよう】という事で9月にハロウィンの吊るし飾り作りをしました。説明の時点で「それ、何なん？ お化けか？」の質問が殺到……しかし、可愛いお手本を見ると、たくさん作って下さり、「孫



壁一面のかぼちゃの飾りができました

に見せるわ」と持ち帰られる方もおられました。他の月には風車や紅葉の壁飾

り、クリスマス飾りを作りました。
お菓子づくりレクでは、【おはぎ】をつくりました。熱々のご飯をつぶして、丸めたあんこを包みきな粉をまぶしたら完成。ぺったんこのや、まん丸のがあったりと、いろんな形が出来上がり、やわらかくて美味しいと評判でした。他の月には【きんつば】、【南瓜の白玉しるこ】などどれも好評でした。
(小畑恵美)

老健大会を 終えて

11月11日に第24回京都府老人保健施設大会で、発表をさせて頂きました。

今回は3施設(なぎさ苑・ふくじゅ・さくら苑)合同発表という事もあり、研究期間も短く又打ち合わせ時間も取れない中、100点満点の内容ではありません

でしたが、担当者会議に焦点を置き、「専門職の関わり方や、家族の会議への参加、在宅復帰との関連性」をテーマに発表しました。

準備中はメールでのやり取りや、パワーポイントの作成など慣れない作業に頑張らざるを得ないが、他部署職員にも協力してもらいながら、無事当日を迎える事ができました。

このような機会を与えて

いただいたことに感謝しています。
(小西美加子)



京都テルサ、大ホールにて

福祉学会「Re-style活動発表」

天橋の郷 Re-style

第十四回京都老人福祉学会がガレリア亀岡にて開催され、介護研究・実践事例発表の一つとして今回初めてポスターセッションが行われ、開設一年を経過したRe-styleがこれまでの成果を発表しました。

初めての試みとあって、試行錯誤の連続でしたが、Re-styleの現状や一番伝えたい事がわかるよう、「Remove from



「適度な運動で若返り!!」

Re-style』と題し、立ち事・座る事、歩く事そして楽しむ事を重点的に活動する中でご利用者がどのよ



うに変わったかを、ご利用者の声や想いと共にポスターにまとめました。素晴らしい取り組みです。素晴らしい取り組みを京都市内にも作って下さい」との嬉しい言葉もたくさん頂き、また同僚と交換や共有を行うなど、とても有意義な一日となりました。
(細見浩明)

車椅子寄贈

〜ありがとう〜
〜いっしょに〜

一般財団法人京都府遺族会様より、車椅子2台を寄贈いただきました。

京都府遺族会様は地域社会に根差した社会奉仕活動として、毎年福祉施設へ車椅子を寄贈されています。

今年度は北星会がいただく事となり、10月28日に天橋の郷で贈呈式を行い、京都府遺族会の安達稔理事から北星会今出理事長へ目録が渡されました。

ありがとうございます。大切に使用させていただきます。
(小奥光朗)



寄付・助成金の贈呈 営業者・管理者等研修



与謝の園ベッド更新

〜京都遊連助成金を
利用して〜

与謝の園では古くなったベッドの更新を行っていただきます。今年度は公益財団法人京都遊連社会福祉基金の助成金を利用して更新いたしました。

11月29日(水)京都市内で助成金贈呈式が行われ法人本部事務局長、与謝の園施設長の2名で参加し助成金をいただきました。この助成金にて低床ベッド2台を購入し特養80床の半分が低床ベッドへの更新が完了しました。大切に使用させていただきます。